

# 町田市は、市議会で採択された決議の即時実施を

2011.10.26

「原発を考える会・玉川学園」 090-1993-2795 ike-2795@ezweb.ne.jp  
<http://genpatuwokangaerukai.jimdo.com/> [genpatuwokangaerukai@gmail.com](mailto:genpatuwokangaerukai@gmail.com)

日時	7/26 11-14		8/31 10-13		9/25 10-12	
	1m	10cm	1m	5cm	1m	5cm
測定場所/ 地上						
玉川学園駅南口 (階段 角)	0.08	0.08	0.08	0.09	0.10	0.08
学園駅北口前 (花壇レンガ上)	0.14	0.15	0.12	0.20	0.13	0.16
玉川学園駅北口 (タクシー乗り場)	0.11	0.12	0.08	0.09	0.08	0.08
玉川大学 (正門入口左横)	0.10	0.11	0.09	0.11	0.08	0.10
学園1丁目信号 (レストラン前角)	0.10	0.11	0.09	0.10	0.11	0.12
玉川中央幼稚園	0.08	0.09	0.08	0.09	0.09	0.10
さくらんぼホール (入口前)	0.10	0.12	0.09	0.12	0.09	0.11
ココロ児童館 (看板前)	0.10	0.12	0.10	0.11	0.09	0.11
さくら保育園	未計測		0.10	0.12	0.12	0.13
なかよし公園 (TELBOX 横)	0.10	0.09	0.10	0.11	0.08	0.09
第五小学校 (正門入口)	0.09	0.10	0.09	0.11	0.10	0.08
7丁目公園 (階段)	0.08	0.10	0.09	0.10	0.08	0.10
コスモス会館前 (入口中央)	0.10	0.12	0.10	0.11	0.10	0.10
化石谷公園 (広場中央)	0.08	0.09	0.12	0.14	0.08	0.08
ユニヴェシオール (中央入口横)	0.13	0.14	0.12	0.14	0.14	0.15
たぬき山公園 (入口門扉 外)	0.08	0.09	0.09	0.06	0.07	0.07
平均	0.10	0.11	0.10	0.11	0.10	0.10
	0.10		0.10		0.10	
気象条件	南南東の風 9m		北東の風 2m		東北東の風 1m	

計測機器は Aloka TCS 151 計測単位は  $\mu$  Sv/h

0.114 が年間被ばく量で 1 ミリシーベルト(国の基準)

## 私達の周囲で続く、高い放射線量の報告

横浜市では、12日に報じられた港北区でのストロンチウム検出に続き、14日には、市立学校数校での高い放射線量計測を発表。17日には東京足立区の小学校で、毎時 3.99 マイクロという驚くほど高い数値の汚染が明らかになりました。

## 雨水の流れが作り出すホットスポット

こうした放射能汚染報告の特徴は、雨水の流れによる濃縮が原因となっていることです。学校は、校舎の規模と構造から、こうした濃縮箇所が出来やすい場所と考えられます。子ども達の本当に身近な所で、放射性物質は堆積を繰り返しているのです。

## 町田市議会の決議

10月4日、市議会本会議は、「小中学校・保育園・幼稚園・公園などの土壌の放射性物質の測定と、学校給食(牛乳などを含む)の放射性物質の測定を求める決議」を満場一致で採択しました。議員の皆さんは、市内の子ども達を守るために、市民の代表としての行動をされました。

## 町田市の対応

ところが、現在市が進めている市内全域にわたる放射線量調査では、小中学校のグラウンドと運動公園などに、計測場所が限定されました。一番危険な乳児・幼児のための施設は、何故計測の対象から除かれたのでしょうか？市の担当課は、「正確な測定をするために、これまでグラウンドの真ん中で測定してきましたが、学校以外の施設では、各種グラウンド以外、その様な広い場所が無いからです」と説明しています。

## 子ども達の環境から、危険を取り除こう

横浜・東京などからの報告が私達に教えたことは、雨どいの下など、ほんの狭い場所に、深刻な汚染箇所が生まれているということです。町田市の対応には、子ども達を放射能の危険から本当に守ろうとする姿勢が感じられません。町田市に対し、私たちは、市議会が採択した決議を、直ちに完全な形で実施することを求めます。学校等で、危険なホットスポットを探し出すための調査が、直ちに開始されることを求めます。

東京都足立区は17日、同区東和の区立東洲江小学校の敷地内で、毎時3・99マイクロ・シーベルトの放射線量を検出したと発表した。区によると、年間の積算放射線量は約21ミリ・シーベルトで、福島第一原発事故で計画的避難区域に指定される目安の年間20ミリ・シーベルトを超えるという。(中略) 検出されたのはプールに隣接する機械室の雨どいの下(地表5センチ)。

**小中学校・保育園・幼稚園・公園などの土壌の放射性物質の測定と、学校給食(牛乳などを含む)の放射性物質の測定を求める決議** blog 吉田つとむはインターネットを武器とする!

町田市は、剪定枝資源化センターで作った、チップたい肥(土壌改良材)の放射性物質を測定・分析し、国から示された暫定許容値を上回る数値が測定された、と発表している。この剪定枝は市内から集めたものであり、町田市内の樹木や葉っぱにも無視できない高い濃度の放射性物質が含まれていることを示している。

また、国の暫定規制値を上回る放射性物質が含まれた牛肉や製茶が既に各地で市販された事実が明らかになり、既に一部には家庭で食用されているケースも発生している。それぞれの食品は出荷段階で厳重な測定検査が行われているはずであるが、上記の例が発生していることで、他の食品においても市場に流通している可能性も否定できない。

これらの事態に対して、市民、特に子育て世代の市民は、様々な不安や懸念を抱いており、その実態を詳しく行政が調べ、公表することを期待している。

よって、町田市議会は、町田市に対して、次の事項の実施を求める。

1. 町田市内における小中学校・保育園・幼稚園・公園などの土壌の放射性物質の含有量を、速やかに町田市が検査機関に依頼して測定調査を実施し、公表すること。
  2. 学校給食(牛乳などを含む)の放射性物質の含有量を、定期的に町田市が検査機関に依頼して測定調査を実施し、公表すること。
- 以上、決議する。

**町田市の発表するグランド中央での計測値と「原発を考える会」の計測値 (計測単位はμ Sv/h、)**

計測日	町田市が計測したグランド中央での計測値				「原発を考える会」計測の学校門前計測値			
	8/30		9/20		8/31		9/22	
計測位置	地上1m	地上5cm	地上1m	地上5cm	地上1m	地上5cm	地上1m	地上5cm
鶴川第一小学校	0.03	0.03	0.05	0.06	0.09	0.09	0.08	0.09
三輪小学校	0.04	0.04	0.06	0.06	0.10	0.12	0.10	0.12
町田第六小学校	0.04	0.04	0.06	0.06	0.09	0.10	0.09	0.10
関師小学校	0.06	0.06	0.09	0.09	0.11	0.13	0.11	0.13
小山小学校	0.03	0.03	0.05	0.05	0.10	0.11	0.10	0.12

原発を考える会の使用機器は Aloka TCS151

**「原発を考える会・玉川学園」 今後の放射線量計測、市民集会、勉強会予定**

- 11月 6日(日) 10:00~ 地域放射線計測 10:00 自然食の店「明日葉」(042-729-5015) 前集合  
 ※測定地点の希望も伺います。  
 計測のみ参加の方も歓迎します
- 11月 20日(日) 13:30~ 市民集会 「子ども達を放射能から守る町田市民運動出発に向けて」  
 玉川学園文化センター第2・第3会議室
1. 町田市の親たちが直面している現状
  2. 町田市民の手で作る、子ども達を放射能から守る市民運動  
 住民の協力による、地域の線量計測と測定値の公開  
 市民測定室を開設し、食品に含まれる放射性物質を計測  
 町田市民の声を1つにした、市行政への働きかけ その他
- 12月 18日(日) 13:30~ 勉強会 内容は未定です  
 玉川学園文化センター第2・第3会議室